



風を創る  
ひとたち

5

静岡県障害者文化芸術活動支援センター **みらーと**

令和4年度 静岡県障害者文化芸術活動支援センター運営事業 成果報告書



【上段】古川 明美：「無題」紙にアクリル

【下段】廣瀬 繪子：「エキセントリックなネコ」紙に水彩

【中部拠点】〒420-0031

静岡市葵区呉服町2-1-5 5風来館(ごふうかん)4階

TEL 054-251-3520 FAX 054-251-3516

【相談受付時間】平日10:00～17:00

mail: mirart@findart.jp

【東部拠点】〒410-0801

沼津市大手町1-1-3 沼津産業ビル1階 とも沼津店

TEL・FAX 055-963-9100

【西部拠点】〒430-0929

浜松市中区中央1-12-1 静岡県浜松総合庁舎10階

TEL・FAX 053-458-7600

ふあいんだー  
**Findart**  
ふじのくに障害者芸術ポータルサイト



<https://findart.jp/>

表紙 作品：関谷 早央：「キャンベルスープ缶」紙にペン・マーカー  
デザイン・監修：遠藤 次朗（みらーとアートディレクター）

東アジア文化都市  
2023 静岡県  
Culture City of East Asia  
2023 SHIZUOKA

# ご挨拶

当法人は、「静岡県障害者文化芸術活動支援センター運営事業」の委託を受け、平成30年9月19日に静岡県障害者文化芸術活動支援センター「みらー」とを開設してから、今年度で5年目となりました。

この事業は、障害のある人の文化芸術活動の普及を通して、障害のある人の社会参加と、障害や障害のある人に対する県民の理解促進を目的として実施しています。今年度も、新型コロナウイルス感染症の影響から解放されることは叶いませんでしたが、これまで蓄積してきた経験を活かし、フレキシブルな対応力で支援活動に取り組んできました。

みらーとは、静岡県東部地区(沼津市)、中部地区(静岡市)、西部地区(浜松市)の3拠点体制で支援に取り組んできました。3拠点がそれぞれ障害福祉サービス事業所や特別支援学校、関係団体などを積極的に訪問し、広域的な支援体制づくりを目指しました。相談や研修会、展覧会、オープンアトリエ、ワークショップなどの開催によってネットワークを構築するとともに、専門的な知識を支援活動に反映させることを目的として、文化芸術活動に関する多様な分野の専門家を巻き込んだ活動を展開することができました。

今年度は芸術系の大学やデザイン専門学校などとも協働し、障害のある人や事業所と共にイベントを開催することができ、支援の輪をより広げることができたと感じています。また、企業や報道関係者などの新たな方々からも相談が寄せられ、様々な方が障害のある人の文化芸術活動に関心を寄せていることが感じられました。

最後に、様々な事業を行っていく中で、今年度も多くの方にご協力をいただきました。心からお礼申し上げます。今後も引き続きこの経験を活かし、障害のある人の文化芸術活動支援の充実を図っていきたくと考えております。多くの作品は希望の賜物です。今後ともご支援ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

認定特定非営利活動法人

オールしずおかベストコミュニティ

専務理事

小出隆司



Look@me! でのワンシーン

【上段・下段右】静岡文化芸術大学生オープンアトリエ見学の様子(サンサンいわたあゆみ:磐田市)



静岡文化芸術大学  
大学生グループ主催のワークショップ



園田 康隆(waC) : 「牛」 紙に墨

# 風を創る ひとたち

INDEX

# 5

ページ

01 ご挨拶

03 INDEX

05 巻頭特集

驚きと感動! 作品を鑑賞・活用した企業からのメッセージ  
作品を展示活用した企業担当者に聞いた!  
障害のある人の作品の魅力とは?  
障害のある人の作品鑑賞・活用から見てきたもの

## 1. 生み出す 創り出す

11 オープンアトリエ開催報告

## 2. 伝える

15 発表の機会創出

パフォーミング・アーツ Look@me! 2022報告

21 みらーと「風を創るひとたち展」活動報告

29 ふじのくに障害者芸術ポータルサイトふあいんだー始動!

## 3. 支える

33 支援人材育成セミナー活動報告

35 ワークショップ活動報告

## 4. 夢を描く～次年度に向けて～

41 支援コーディネーターからのメッセージ

東・中・西部支援拠点相談データ

45 1年の活動を振り返って みらーと協力隊からのメッセージ

# 風を創る ひとたち 特集



## 驚きと感動！作品を鑑賞・活用した 企業からのメッセージ

作品を展示活用した企業担当者に聞いた  
障害のある人の作品の魅力とは？

障害のある人の作品鑑賞・活用から見てきたもの

【上段】お気に入りの作品を前に笑顔の小泉支店長。ご自身は美術検定2級を持つほどの美術愛好家でもある  
【左頁中段】太田 利三氏(富士市)の作品「月の詩」を前に作品ひとつひとつにコメントを寄せてくれた社員の皆さんと記念撮影

三井住友信託銀行株式会社  
静岡支店 支店長 小泉 健二

障害のある人の作品の魅力はどんな  
所にあるとお考えですか？

「アート」というと、高尚な知識を要  
求されるようなところかよそよそしい  
印象があります。しかし、障害者ア  
ートには、そういう面を排除して、とに  
かく表現が自由で、型にはまらない明  
るい色使いや、大胆な形・構図、そして  
時に尋常ではないほどの根気に基づ  
く緻密さ、想像を超える独特の世界感  
があり、見る側としては純粋に楽しい  
し、胸を打たれます。

作者の方は日々の生活にご苦勞を  
されている可能性もあると想像しま  
すが、生まれた作品にはそういった点  
を感じさせず、決して人を傷つける要  
素がなく、人としての心の自由さ、強



さ、優しさ、描くことの楽しさや描きたい衝動がストリー  
トに伝わってくる。それが障害者アートの魅力と考えます。

障害のある人の作品を鑑賞したり活用したりすることで  
どんな効果が期待できると思いますか？

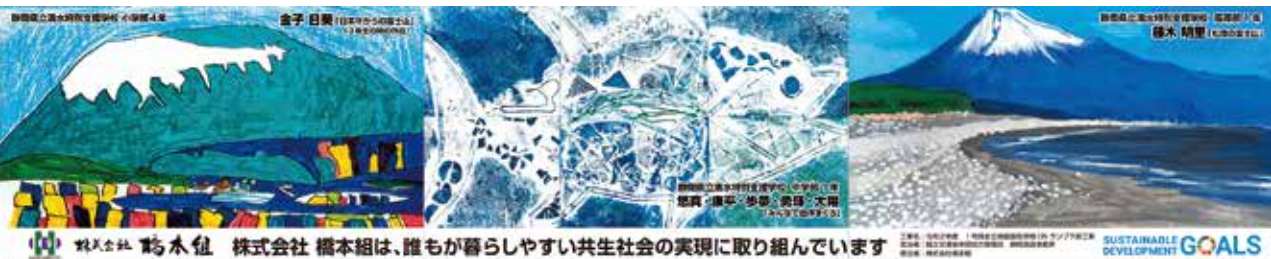
昨今企業ではウェルビーイング経営の重要性が問われ  
ています。ウェルビーイングの定義は様々ありますが、企  
業では企業活動を通じて企業と従業員の双方が持続的に

心の自由さ、強さ、優しさ、描く楽しさや  
衝動が伝わってくる

幸福である状態ととらえられることがあ  
ります。

会社が肉体的、精神的、社会的にも満た  
される組織環境を整えることで、社員がや  
りがいをもって意欲的に仕事に取り組み、  
それにより生産性が高がり、企業価値も向  
上することにつながることになります。ま  
た仕事だけでなく、地域コミュニティに貢  
献し社会的にも満たされることもウェル  
ビーイングの重要な要素であると言えま  
す。私は、障害者アートとの関わりが企業  
のウェルビーイングの向上につながると  
考えます。

私の支店では、最近障害者アートロビー  
展を実施しました。その際、社員約30名に  
自分が展示したい作品を選んでもらい、推  
薦コメントを添えて展示することにしま  
した。自分の好きなものをお客様に紹介す  
ることを通じて、社会貢献への参画意識を  
高めることができるのではと考えたから  
です。どの作品も素晴らしい、お客様には  
とても好評でしたので、作品を選んで記載



静岡支店・静岡中央支店

〒420-0852  
静岡市葵区紺屋町3 番地の10  
TEL: 0120-303-420

<https://mappc.smtb.jp/b/smtb/info/420/>



したコメントを見ていただくことで社員も少し誇り高い気分になれ、社会的に認められるという幸福度の向上から仕事へのやりがいにつながったのではないかと考えます。

また表現の場を提供することで作者にもプラスになり、作品展示でお客様にホスピタリティの高い空間を提供することは企業にもプラスの効果を得られたと考えます。こういった三方よしの効果が得られる活用方法があり得るのではないかと思います。社会的価値と経済的価値の正の好循環が生まれることで、よりよい社会になることを期待しています。



感性で表現した、ダイナミックでありながら緻密で繊細な点と考えています。

障害のある人の作品を鑑賞したり活用したりすることでどんな効果が期待できると思いますか？

まず「二」目は、鑑賞することで「発想の転換」を意識させてくれます。たとえば仕事の場面では凝り固まったなかなか打破できない難しい局面において、今までの常識にとらわれない「発想の転換」を気付かせてくれます。

今まで見ていたところとは全く違う視点から「観る」「考える」ことで、これまで



常識の範囲でしか考えなかった解決策を、「あたりまえ」をぶっ壊した突拍子もない良案（デザイン）が思い浮かび、閃き、一つの提案書（キャンバス）に描くことができたこともありました。

「二」目は、活用することでの「集客効果」です。

「障害者芸術」という集客効果はさておき、常人離れたダイナミック且つ繊細・緻密な極彩色の作品に目を引かれ、芸術に素人であるわたしたちでも「素晴らしい」「すごい」とつい唸って思わずその場に足を止めて魅入ってしまう。そんな「集客効果」で



わたしたちでは創造しえない唯一無二の作品である

静岡県立清水特別支援学校とコラボレーションして完成した幅3m超えのアート看板が市民の目を引く

地域に根差した取組を評価され  
国土交通省から優良工事表彰(社会貢献等工事)を頂きました



株式会社 橋本組  
〒425-0022  
焼津市本町2丁目2番1号  
TEL: 054-627-3276 (代表)  
<https://www.hashimotogumi.co.jp/>



す。言いかえれば、ウインドウショッピング的な集客効果があると考えます。

三つ目は、企業の「障害者芸術」の採用・普及による「認知効果」だと思います。

認知効果とは、「知ってもらって身近に感じてもらう効果」であると考えます。広く認知されてアートが身近になり、社会的に普及し拡大すれば、作者およびご家族の喜びもひとしお、需要と供給の関係が成立し、大きなWin-Win効果につながることを考えます。

障害者芸術が今後、益々評価され普及することを願っています。

株式会社 橋本組  
現場所長・主席技術者 遠藤謙

「わたしたちでは創造しえない唯一無二の作品である」とことだと思いません。

まず目にしたのが「奇抜なデザイン」です。通常、絵画は目で見たものをキャンバスに忠実に再現していくものと思いますが、障害者芸術作品はそこで大きなプラスαの創造が加わり素晴らしい作品になっているのだと感じています。

また、鑑賞する人の目を奪うのが「色彩」です。私たちが持つ常識的な感性を打ち破る「極彩色」を堂々と、ふんだんに使う、素晴らしい色彩に大きな特徴があると感じています。

あらためて、障害のある人の作品の良さは「観て感じて」「感じたものを思いのままに創造して」「わたしたちでは考えもつかない天才的な



いずれの会議室にも障害のある作家の作品が飾られている

絵の完成度や統一感がなくなるような気がしますが、逆に完成度が高くなっているのです、私たちには見えていないものが作者の中では可視化されていて、絵画というものの奥深さを味わうことができます。

絵を見ているようで、その奥にある人の人格に触れるような感じでしょうか。目で見えること以外に感じることもできる、という事が多い点が一番の魅力だと思います。

まず「元気がもらえること」、そして普段曇りがちな心を晴らしてくれる、そんな良さがあると思います。

人それぞれというのは承知の上で、あえて比較を述べると、通常の絵画を鑑賞する事と本質的には同じかと思いますが「まっすっ」素直な「多幸感」

この点では障害のある人の作品の方が、より強くストレートに感じる事ができると思います。

私自身の経験ですが「素直な」や「まっすっ」な気持ちを忘れかけているときに、その絵をふと見ると忘れがちな、けれども大切な気持ちが蘇ってきます。絵を見て救われる経験をたくさんの方がお持ちだと思いますが、私はここまで「素直な」を多分に引き出してくれる絵に出会ったことがあ



街行く人が元気になることを願って工場壁面に設置された大きな作品が通りを行く人の目を引く

絵を見ているようでその奥にある人の人格に触れる目で見えること以外に感じる事ができる

### 絵を見ると忘れがちな、けれども大切な気持ちが蘇ってきます。



村田ボーリング技研株式会社

〒421-0106 静岡県駿河区北丸子1-30-45  
TEL: 054-259-1251

<https://www.murata-brg.co.jp/>



りませぬ。

また、来社されたお客様の評価も高く、会話の弾みに必ず一役買ってくれます。絵を見て素直な気持ちで場に臨む事ができる事は、人と人の付き合いである以上、それがお客様でも協力会社様でも有意に働くことは言うまでもありません。

最近工場の壁面に障害者アートを設置しましたが、近所の評判もよく「絵をみてとてもいい気分になる」「みるとほっこりする」というお言葉もいただきます。特に子供たちは指をさして喜んでくれます。大人以上に素直な子供たちですから、きっと何かを感じ取ってくれているに違いありません。

村田ボーリング技研株式会社  
代表取締役社長 **村田 光生**

障害のある人の作品の魅力はどんな所にあるとお考えですか？

屈託のない「そのままを描いている」という点かと思います。絵の背景を聞かずとも、全身全霊を傾け集中しながら描かれているのだからと感じます。特にわが社で人気の高い絵が、ライオンの絵とアルマジロの絵です。

ライオンの絵は目を合わせた瞬間にエネルギーが伝わります。岡本太郎氏が「藝術は爆発だ！」と仰っていますが、その言葉がぴったり当てはまります。会議室に飾ってありますが、部屋の雰囲気もその絵に引っ張られるかのようでお話にもつい力が入ってしまいます。

アルマジロの絵は「仲まいに品がある」という形容が社内ですれませんが、独特な配色は我々の感性に激しく突き刺さりします。

聞けば時間をかけて完成されたとのことですが、どれだけ悩んでもあの色使いは私たちではできません。あれだけの色使いをすれば、

## 「その先」へ繋がるオープンアトリエ

東部

「地域の展示会に出展したい」、また「福産品に添えるメッセージカードに作品を利用したい」。絵を描くことだけでは終わらず魅力を生かすため「その先」に展開していきたいといった思いが各事業所、それぞれの支援員の方から熱意として伝わってきたのが印象的でした。

創作活動中は表現することの楽しさ、普段見ることのできない表情や、絵の描き方からわかる特性、また可能性も発見できるといったアートの力を感じることもできました。

また、でき上がった作品を皆で共有し感想を述べあうことでコミュニケーションを深めることができ、「また絵を描きたい」といった感想も多くの方から聞くことができました。

事業所の方には、内容検討や日程調整、事前準備、後片付けの協力など、運営にも積極的にご参加いただき感謝しております。

今後その先に繋がるオープンアトリエと一緒に模索し開催していきたいと考えています。

みらいと東部  
支援コーディネーター 伊藤 享子

【上段】のびる作業所(三島市)「狩野川と花火」のモチーフにてオープンアトリエを開催 【下段左】ワークホーム・アップル(駿東郡小山町)年末に行われる小山町の福祉大会出展に向けて富士山の作品を制作【下段右】社会福祉法人十字の園 ワークショップマナ(賀茂郡西伊豆町)「富士山と電車」のモチーフにて開催



# 1. ● 生み出す 創り出す Open Atelier

作品に注がれた時間。心が動き笑顔になる  
オープンアトリエ開催報告



ワークホーム・アップルで「オープンアトリエ」(駿東郡小山町)

## 「きっかけ」の一端

### 西部

みらーと西部  
支援コーディネーター

鈴木結子

「定期的にオープンアトリエを開催したい」  
そんなご相談から、磐田市の法人で月1回のオープンアトリエを実施しました。

【継続は力なり】という言葉がありますが、毎月の活動はその言葉の通りだと感じます。

最初の頃は「私、絵なんて描けないから」と言っていて、ただジーンと白い紙を見つめていた方が、自分に合った画材や描き方を徐々に見いだし、今では「自分で見つけてきた」と言っていて自身で好きな紙を用意してオープンアトリエに臨まれるようになりました。

絵を描く、それだけの事で

すが、自分なりの表現を見つげられる事は大きな喜びと活力を生み出しています。

オープンアトリエは、アトリエに触れるきっかけです。どうしても、最初は身構えてしまう事もありますが「思いっきり描く」事を誰か一人がやってみれば、その場の雰囲気ガラッと変わるのオープンアトリエの面白さです。

1度の開催でも毎月の開催でも、オープンアトリエという体験が表現のきっかけを作る機会となれば幸いです。



## オープンアトリエに 体を使って自由に表現する イベントを追加

今年度は、絵を描いたりすることに偏りがちだったオープンアトリエに、体を使って自由に表現するイベントを加えました。音楽はずっと流しっぱなしで、先生の真似をしたり、好きな曲だけ参加して踊ったり、疲れたら休んだり自由な環境の中で楽しんでもらえたようです。

今回のオープンアトリエをきっかけに、別ページで紹介しているパフォーミングアーツ「look@me! 2022」に出演していただけることになり、更なる今後の展開が楽しみです。

### 中部

みらーと中部  
支援コーディネーター

田代大輔

【上段左】サンサンいわた東原(磐田市)でのオープンアトリエの様子 【上段右】ループ奏(浜松市)でのオープンアトリエの様子 【下段左】地域活動支援センターしおかぜ(湖西市)でのオープンアトリエで制作した完成作品 【下段右】サンサンいわたあゆみ(磐田市)でのオープンアトリエの様子



社会福祉法人ハルモニア(藤枝市)でのダンスワークショップの様子。皆ノリノリで体で表現している







【上段】舞台上でポーズをとる演者たち。皆今日一番のポーズで決まってる！ 【下段左】ラルシュかなの家のメンバーによる「チンドン」パフォーマンス 【下段中】舞台から客席を見下ろす 【下段右】司会を務めた佐々木彩さん

## 笑顔で躍動する姿に会場はヒートアップ！

みらいとは舞台芸術分野の支援活動も毎年実施しています。これまではファッションショーを中心に開催してきましたが、今年度はパフォーマンス（楽器演奏、ダンスなどを披露するイベント）を企画し開催しました。

新型コロナウイルス感染症の世間の警戒度は昨年度より低くはなりませんが、依然として多くの感染者数を記録しており、イベント当日まではハラハラさせられました。しかし、一旦イベントが始まってしまえば、出演者達の素敵な笑顔や元気いっばいに躍動する様子に会場は満たされ、観客と一体となって楽しむ様子はそれまでの不安を吹き飛ばしてくれるものでした。

多くの出演者はイベント本番に向けて何度も練習を重ねてきました。その練習時間は周りの友人と友情を深める場にもなり、また保護者同士の情報交換の場にもなり、とても有意義な機会になったようです。

パフォーマンスって、  
楽しい！観てもらって、  
うれしい！

伝える  
発表の機会創出

# 2. Mirart Performing Arts 2022

パフォーミングアーツ  
Look@me! 報告  
(ルック・アット・ミー！)

Look@me!



【監督・演出・振付】 鈴木 未来  
【映像撮影・編集】 池田 光 片山 梓 【スチール撮影】 小原 敏行 【アシスタント】 青島 えりか 鈴木 瑠日  
【企画・運営】 田代 大輔

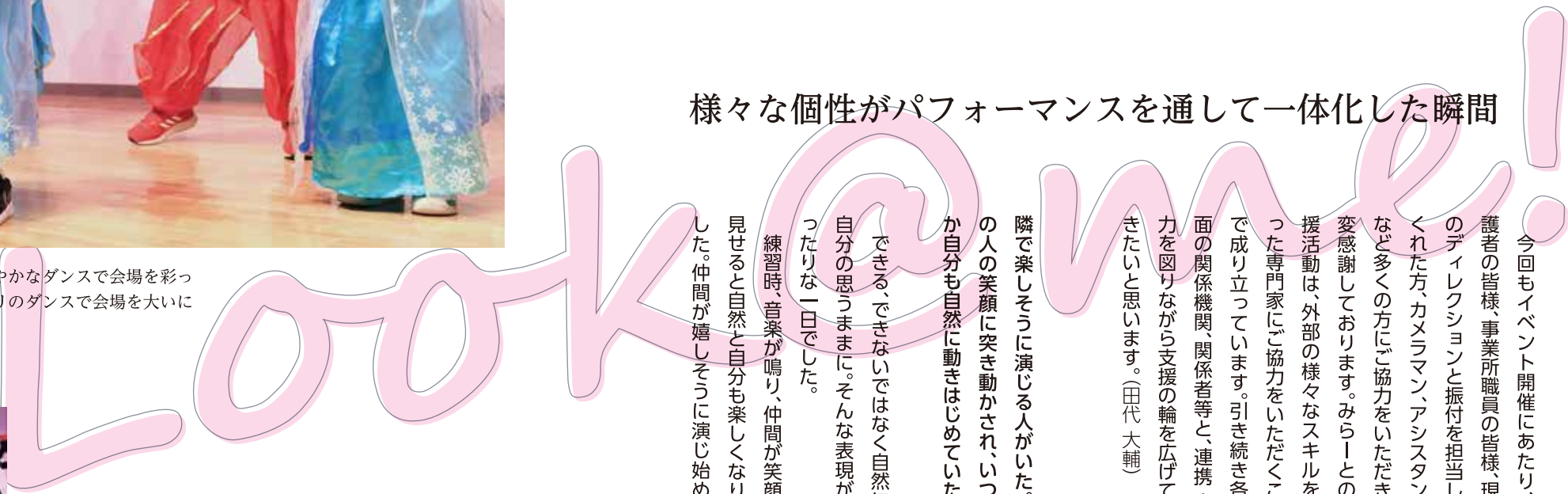


【上段】エキゾチックな衣装で登場した Mirai (ミライ)。華やかなダンスで会場を彩った。子供たちのダンスがとってもキュート！ 【下段】ノリノリのダンスで会場を大いに盛り上げたハルモニア



【上段右】アーティストックで独創的なピアノ即興演奏で会場を魅了した佐々木裕一さん 【上段左】ラルシュカの家メンバーのパフォーマンス 【下段左】ごまっちの空手と太極舞 【下段右】シズニーのパフォーマンス

## 様々な個性がパフォーマンスを通して一体化した瞬間



今回もイベント開催にあたり、保護者の皆様、事業所職員の皆様、現場のディレクションと振付を担当してくれた方、カメラマン、アシスタントなど多くの方にご協力をいただき大変感謝しております。みらーとの支援活動は、外部の様々なスキルを持った専門家にご協力をいただくことで成り立っています。引き続き各方面の関係機関、関係者等と、連携・協力を図りながら支援の輪を広げたいと思います。(田代 大輔)

隣で楽しそうに演じる人がいた。その人の笑顔に突き動かされ、いつしか自分も自然に動きはじめていた。

できる、できないではなく自然に、自分の思うままに。そんな表現がぴったりの一日でした。

練習時、音楽が鳴り、仲間が笑顔を見せると自然と自分も楽しくなりました。仲間が嬉しそうに演じ始める



と、何だか自分も動きたくなりました。仲間と動きを合わせたり、そして今度は自分の動きを仲間に見せたいなりました。

曲が終わるとみんな嬉しそうに笑っていました。拍手をしてくれる人がいました。よく頑張ったねと褒めてくれる人がいました。少し息が上がっていたけれどいつもと違うこの感じ、いつもと違うこの充実感。これが「演じる」ということなのでしょう。

何だかとても楽しく、何だかとてもワクワクしました。たくさんの方が見守ってくれて、たくさんの方が応援してくれている。そしてみんなが幸せを感じている。そんな姿に感動しました。(遠藤 次朗)



## 開催データ 出演者紹介



### 1. 佐々木 裕一 ピアノ即興演奏

リサイタル16回、CD4作品発表。  
めぐるりアート静岡、かけがわ茶エンナーレなどの美術イベントにも即興演奏で出演。義足のダンサーと、SPAC俳優による3人での舞台(2022/2 じずぎんホール)も務めました。

### 2. ラルシュかなの家 パフォーマンス

なかまたちが、元気いっぱい楽しくパフォーマンスします。



### 3. Mirai ダンス

ママや兄弟と一緒に踊る、うれしい笑顔がキラキラしています。空手二段を持つ女性は、新しい演舞に挑戦。突き蹴りは圧巻。  
モデル事務所でレッスンを受け、ショーに出演経験もある多彩なメンバーです。

### 4. シズニー ダンス

テーマは「ロック」、大ヒット映画曲や誰もが愛する名曲で、パワフルにクールに踊ります。静岡市のダンス大好きなチーム。ダンスの可能性にワクワクしている元気いっぱいのメンバーです。

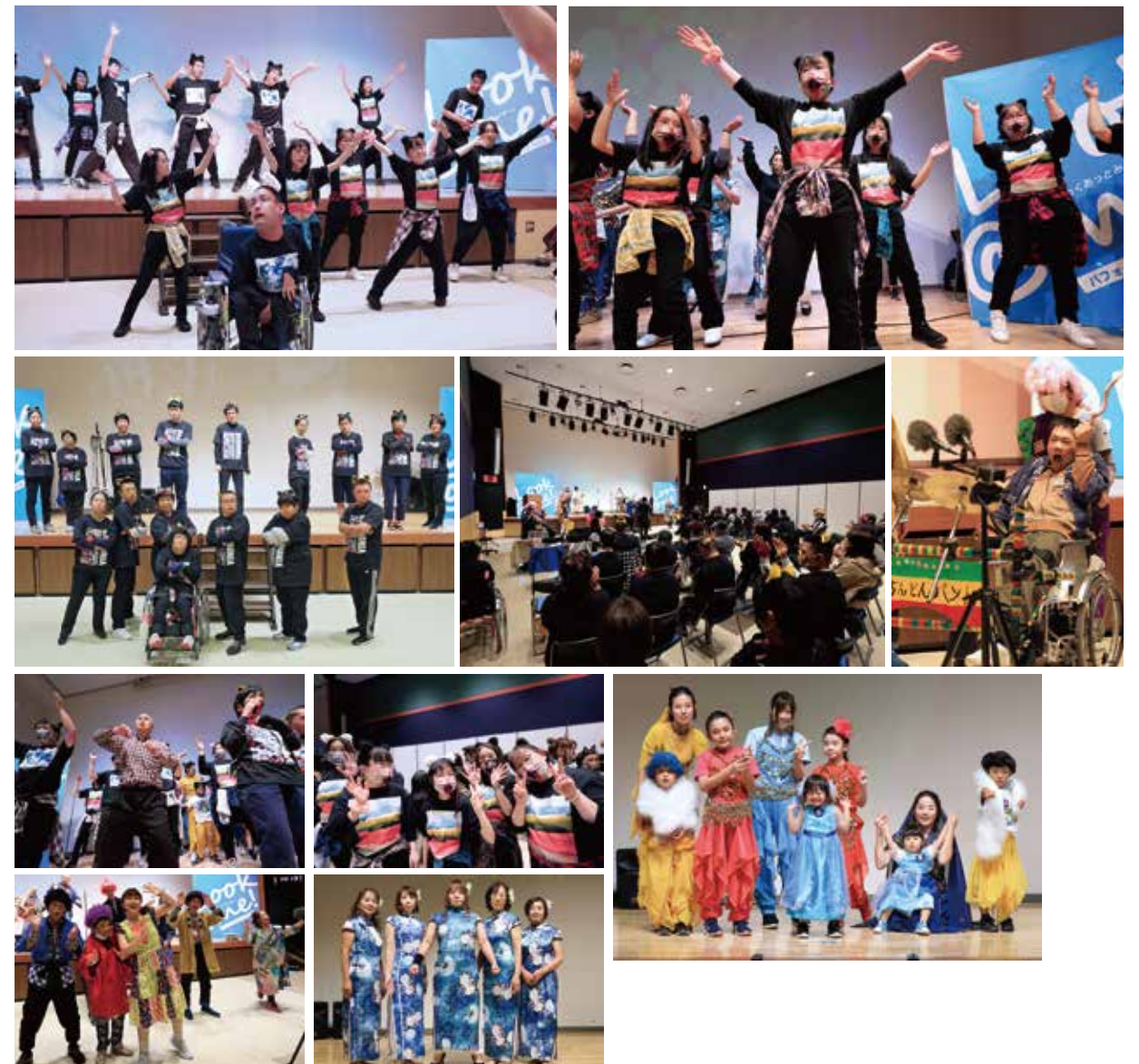


### 5. ハルモニア ダンス

ディスコの名曲で元気いっぱいに踊ります。藤枝市の事業所で、毎週楽しんでいるダンスと音楽は、彼らの表現する可能性を大きく広げてくれます。



## 演じることの素晴らしさと楽しさを感じた時間



開催日時 2022年 時間 **13:30-15:30** (開場は開演の30分前)  
**11/23** 水祝 場所 **MIRAIE リアン コミュニティーホール七間町** 静岡市葵区七間町 12-4

パフォーマンス動画はふあいんだー WEB サイトより動画配信されています。ぜひご覧ください

**Findart+** <https://findart.jp/mirart/>





「風を創るひとたち展～碧い翔け橋 2022～」  
静岡文化芸術大学西ギャラリー(浜松市)

## 心を豊かにするものが芸術であり その楽しみ方は無限

県内各地から多く寄せられる  
相談内容に「作品は次々にでき上  
がるがどうしてよいかかわらな  
い」があります。

相談を受けて実際に作品を見  
せていただくと「これが素晴らしい  
作品で、このままどこにも出さ  
ずに棚や部屋の隅に保管してお  
くのは本当に惜しい！」と心から  
思う事があります。

そんな相談者が次に口にする  
言葉があります。「芸術は高尚す  
ぎてよくわからないから」。

しかし「心を豊かにするもの」  
が芸術であり、その楽しみ方は無  
限です。鑑賞しながら心が通う瞬  
間もまたその楽しみ方のひとつ  
だと考えています。

【左】「風を創るひとたち展東部」MIHAMAYA THE GALLERY 会場でサインしてコミュニケーションする田中  
拓実さん【右上段】いわなみキッチンで交流する赤池僚也さん【右下段】展示された作品に見入る鑑賞者



# 伝える 風を創るひとたち展

活動報告

発表する場をつくり

「地域とのつながり」を創出する展示会



アフリカ自立支援プロジェクト 写ルン族 Exhibition Tour「共鳴」表参道展



株式会社東海医療器械会場にて



「共鳴」表参道展

であり、障害の有無に関係なく美術作品を通じて参加しているアーティストの方々、また来場いただいたお客様から関心を持っていただく機会を創出することができました。今後展示会を開催することによって繋がりがどんどん広がっていく、多くの方に観ていただけることを期待しています。



静岡伊勢丹コリドー・フジにて

開催DATA

株式会社東海医療器械『ふく\*ふくフェス』展示会(沼津市)

令和4年5月17日(火)～5月24日(火) 【出展作品数】21点 【来場者数】60人

えがお(三島市)、のびる作業所(三島市)、もくせい苑(伊豆の国市)の3福祉事業所より出展

5450 THE GALLERY 「共鳴」表参道展(東京都港区南青山)

令和4年7月17日(日)～7月23日(土)

特定非営利法人ひまわり事業団 それいゆより出展

静岡伊勢丹コリドー・フジ(富士市)

令和4年9月1日(木)～9月4日(日) 【出展作品数】69点 【来場者数】110人

静岡県立富士特別支援学校富士宮分校、・atelier QUOKKA FUJINOMIYA ART CLUB、waC (wonderful art COMMUNITY) 3団体より出展

MIHAMAYA THE GALLERY(三島市)

令和4年11月3日(木)～11月6日(日) 【出展作品数】25点 【来場者数】60人

waC(wonderful art COMMUNITY)より出展

来場したお客様から繋がりが広がる展示会へと発展

東部

みらーと東部  
支援コーディネーター 伊藤 享子

東部地区は、福祉用具を主に扱っている「株式会社東海医療器械」での福祉フェス同時開催、また富士市にある商業施設「静岡伊勢丹」コリドー・フジ、そして三島市に大正時代からある老舗の陶器店「MIHAMAYA」の新設ギャラリーと、今年度も様々な場所で開催させていただきました。

また、昨年度開催した「いわなみキッチン」でのみらーと展にご来場いただいたお客様からお声かけいただいたのをきっかけに、アフリカの子供たちの自立支援プロジェクトとして開催されたアート展へ、中部地区にある福祉事業所「それいゆ」から出展する機会もいただきました。

こちらは「アートの魅力を支援につなげる」という開催趣旨の展示会



風を創るひとたち展 アピタ静岡店(静岡市)



風を創るひとたち展 ピオン清水店(静岡市)



“つなぐ”アート展  
静岡ガス エネリアショールーム静岡(静岡市)

開催DATA

**アピタ静岡店(静岡市)**

令和4年5月20日(金)～5月26日(木) 【出展作品数】7点 【来場者数】300人

waC (wonderful art COMMUNITY)(静岡県立藤枝特別支援学校の卒業生を中心としたARTクラブ) 絵画/7点

**ピオン清水店(静岡市)**

令和4年6月25日(土)～7月8日(金) 【出展作品数】20点 【来場者数】250人

ひまわり事業団それいゆ/9点 waC (wonderful art COMMUNITY)(静岡県立藤枝特別支援学校の卒業生を中心としたARTクラブ) 絵画/4点 ラポールみなみ/7点

**“つなぐ”アート展 静岡ガス エネリアショールーム静岡(静岡市)**

令和4年10月22日(土) 【出展作品数】15点 【来場者数】180人

waC (wonderful art COMMUNITY)(静岡県立藤枝特別支援学校の卒業生を中心としたARTクラブ) 絵画/15点

様々なシチュエーションで  
作品を紹介することで相互理解が進む



みらいと中部  
支援コーディネーター 田代大輔

今年度は多くの方に障害のある人の作品を見ていただき、障害のことを知っていただくことを目標にしました。地元企業と連携した展示会を開催し、より地域の方に作品を見ていただけるように活動してきました。

ショッピングセンターやライフスタイルショップで開催した展示会では、買い物に訪れた多くの方に作品を見ていただくことができました。

初めて障害のある人が描いたアートに触れる人が多く、大胆な構図やデフォルメ、感性豊かな色使いに驚き、作者の背景に興味をもっていた。良い機会になりました。また、静岡ガスのショールームでの展示会は、ショールームの大きな窓ガラスに絵を描くワークショップと同時開催し、展示会の絵を見て刺激を受けた人たちが、窓ガラスに向かって楽しそうに絵を描いている姿が印象的でした。

このようなイベントを継続的に開催することで、障害のある人となない人の相互理解促進・共生社会の実現に向けて支援していきたいと思えます。



安間 勝司(袋井市)：「招き猫」紙に広告紙

者も集まります。それは観覧者のみでなく、作家さん達も同様です。事業所の仲間達の作品だけではなく「同じ地域の障害のあるアーティスト」の作品を目にする事は、その後の創作活動への大きな刺激に繋がっていました。お互いがお互いを刺激し、創作へ繋げる姿勢はとても大切だと感じます。



袋井市役所市民ギャラリー(袋井市)



中東遠総合医療センター(掛川市)



静岡文化芸術大学西ギャラリー(浜松市)



これっしか処(JR 掛川市)



浜松市市民協働センター(浜松市)

開催DATA

中東遠総合医療センター「絵画の小径」(掛川市)

令和4年7月1日(金)～7月29日(金) 【出展作品数】30点 【来場者数】15,000人

ひまわり工房×7、なごみかぜ工房×3、風の森×3、風里×3、草笛の会×3、きくがわ作業所×6、松井久悦(個人)×5

これっしか処(掛川市)

令和4年9月5日(月)～9月18日(日) 【出展作品数】30点 【来場者数】210人

横さんち×5、ねむの木学園×3、ワークショップやくわり×3、ワークスつばさ×4、きくがわ作業所×3、松井久悦(個人)×3、胡湖奈るん(個人)×2、古川明美(個人)×3

浜松市市民協働センターはまこらギャラリー(浜松市)

令和4年10月4日(火)～10月24日(月) 【出展作品数】28点 【来場者数】200人

協力:浜松市市民協働センター、特別協力:読書日和、写真:山田哲也(ワークショップくるみ)×7、高山笑韻(地域活動支援センターだんだん)×7、詩:羽田光夏×14

静岡文化芸術大学西ギャラリー(浜松市) 風を創るひとたち～碧い翔け橋2022～

令和4年10月20日(木)～10月28日(金)【出展作品数】47～点 【来場者数】302人

恵松学園×5、トータルケアセンター×6、青葉の家・こもれびの家×陶芸作品多数、戸田健矢(個人)×5、安田幸大(個人)×7他

浜松市立都田図書館(浜松市)

令和4年11月1日(火)～11月30日(水) 【出展作品数】20点【来場者数】9,305人

遠江学園ひくまの×10、細江あすなろ作業所×5、地域活動支援センターだんだん×5

浜松子ども館ギャラリー③(浜松市)

令和4年12月22日(木)～12月27日(火) 【出展作品数】27点【来場者数】106人

支援センターわかぎ×19、遠江学園まつかさ×3、天竜ワークキャンパス×5

袋井市役所市民ギャラリー(袋井市)

令和5年2月21日(火)～2月28日(火) 【出展作品数】30点【来場者数】150人

なごみかぜ工房×3、風里×3、風の森×3、袋井学園×5、ワークスつばさ×7、あきは寮×2、デンマーク牧場いびき×2、ワークショップやくわり×5



浜松子ども館ギャラリー(浜松市)



窓のキャンパスに描く参加者



浜松市立都田図書館(浜松市)

リアルに作品を観る、体感する機会の重要性



みらいと西部  
支援コーディネーター 鈴木結子

今年度、みらいと西部地区は病院、学校、図書館、商業施設、公共施設等計7カ所で展示の機会をいただきました。

毎年開催させていただいている場所や初めての開催となる所もありましたが、お客様も会場関係者の方々も、皆さん本当に楽しく作品をご覧になっている様子が印象的でした。

展示をさせていただく中で、多くの方が興味を持たれるのはやはり「自分の身近にいるアーティスト」です。

展示会の前に、作品リストを提出すると、いつも会場関係者の方から「凄いですね！飾られるのが楽しみです！」と言っていただけです。

同じ地域に住む、今まで意識していなかったアーティスト、その作品との出会いをきっかけに、少しずつアートの魅力が広がっていることを実感しますし、開催会場の方々が作品展示を楽しんでいらつしゃると自然と観覧



サイト内には静岡県下で活動する作家・作品情報が多数掲載され日々追加されていきます。

Find + ART「ふあいんだー」は静岡で  
アートや作家の魅力を見つける・楽しむ・出会う・わかちあう  
静岡県の芸術ポータルサイトです。

ふじのくに障害者芸術ポータルサイト  
Findart(ふあいんだー)が開始しました。

ふあいんだーは、誰かにとって何かを「見つける場」であり、県内の障害のある人たちの文化芸術を応援するサイトとして誕生しました。みらいとが運営していた「みらいとWEB美術館」も全てふあいんだーに統一されました。

このサイトは、障害のある人が自分の興味のある文化芸術を見つける場であり、自分の作品を発表する場。そしてすべての人がアートの魅力を見つける場です。

障害のある方々のイベントや展示会などの情報も広く掲載することで、県内で活動する作家、そして支援者の方々と社会を繋ぐ場でもあります。

魅力あふれる障害者芸術の情報を掲載して魅力を「見つける」「楽しむ」「出会う」「わかちあう」を合言葉に充実した内容をお届けしています。



いつでも会える。

ふじのくに障害者芸術ポータルサイト

ふあいんだー

Findart

<https://findart.jp/>



が始動しました。

<p><b>アートを見つけない</b></p> <p>あなたのお気に入りが見つかる</p> <p><a href="#">ふあいんだー美術館</a> <a href="#">作家一覧</a> <a href="#">鑑者によるおすすめの作品コメント</a></p>	<p><b>支えたい</b></p> <p>セミナー情報や受け入れ企業などを紹介</p> <p><a href="#">まちじゅうアートのご案内</a> <a href="#">まちじゅうアート応援企業紹介</a> <a href="#">セミナー情報</a></p>	<p><b>見に行きたい</b></p> <p>ここに行けばあなたの心を豊かにするアートに会える</p> <p><a href="#">まちじゅうアートマップ</a> <a href="#">静岡県障害者芸術祭のご案内</a></p>	<p><b>発表したい</b></p> <p>あなたの発表の場をサポートします</p> <p><a href="#">作品・出演者等募集情報</a> <a href="#">静岡県障害者芸術祭 公募情報</a></p>	<p><b>やってみよう</b></p> <p>制作意欲を応援するオープンアトリエやワークショップ</p> <p><a href="#">オープンアトリエ情報</a> <a href="#">ワークショップ情報</a></p>
--	--	---	---	---

ふあいんだー美術館  
PICK UP!







大石 理央  
Rio Ohishi

waC (ワンダフルアートコミュニティ) 所属

作家の特性

2012年よりwaCに所属。  
会員ナンバー1番！waCを世に知らしめた立役者の1人です。  
自分のスタイルで、描きたいものを描きたいように表現することは、  
アーティストの最終目標です。  
彼女のように描きたい、そう思う人は多いはず。  
表現者としての実力が高く、人柄も併せ、たくさんのファンがいます。  
知識満載の彼女です。



大石 理央の作品



【右ページ】ふあいんだーサイト「登録作家一覧」ページより 【上】作家一覧ページから作家個別ページを表示できる  
生き生きと描く大石理央さん(藤枝市) 【下】見たいサムネールをクリックすると作品が閲覧できる

大石理央(藤枝市)：  
「彩り富士山」紙に水彩



魅力あふれる作品に会いに行く

サイトが障害のある人が自分自身の可能性を見つけ、アートを通して人や社会とかわることが出来る場になるように運営していきたいと思えます。  
事業所の皆様、保護者、支援者の皆様身近に芸術活動を行っている方はいませんか？自薦、他薦は問いません。もし作品、作家情報がありましたらお知らせください。その他、みらーとはダンスや歌、舞台芸術に関する情報も募集しております。皆様からの情報をお待ちしております。

ふあいんだーは作品だけでなく作家の魅力も発信します

ふあいんだーは県内で活動する作家とその活動を支援する方々取材してその魅力を掲載しています。  
私たちが取材をする上で大切にしていることは、作品を目の前にした時に正解を探さないこと、そして作者の背景を知ることです。  
自分の限られた知識の中でカテゴライズしたり理屈を考えたりせず、伝わってくるものを素直に感じる。そうした無防備な状態で作者の感性を共有できたときの感動を発信していきたい。そして作者の背景を知ることによって障害特性への理解を深め、共生社会について考えるきっかけになればと考えています。  
今後はサイトの内容をさらに充実させ、様々な情報を発信していきます。そして、この





アートと就労をつなげるためのヒント

静岡市、「就労継続支援 B 型事業所 iroasobi (いろあそび)」  
また「本格讃岐うどん ころ彩」を展開されている  
事業所の管理者 平沢桃香さんをお招きし、  
現場の声(ヒント)をお届けします。

支援人材育成セミナー開催概要

**東 部** (定員 30名) 会場参加のみ

2023 **水** 1/11  
 [時間] 14:00-15:30 (受付 13:30-)  
 [場所] 富士市民活動センター  
 静岡県富士市吉原 2-10-20  
 ラクロス 2 階

**中 部** (定員 20名) 会場参加+リモート

2023 **木** 2/9  
 [時間] 14:00-15:30 (受付 13:30-)  
 [場所] 静岡県働く幸せ創出センター  
 静岡市葵区呉服町 2-1-5 5 風来館 4 階

**西 部** (定員 20名) 会場参加のみ

2023 **水** 2/15  
 [時間] 14:00-15:30 (受付 13:30-)  
 [場所] 静岡県浜松市総合庁舎 9 階  
 浜松市中区中央 1-12-1



**講師**  
 株式会社ティーサービス  
 障がい統括部門管理者  
**平沢 桃香 氏**

- 【セミナー内容】**
- 作品が商品になり人気飲食店で販売される
  - 平均を上回る高工賃
  - 商品づくりで大切にしている考え
  - 絵を描くことで磨かれる力
  - 利用者さんが集まる就労事業所
  - 著作権・所有権について 他



支える

3. Seminar

支援人材育成セミナー活動報告

アート活動を工賃へ繋げる学び

今回の支援人材育成セミナーは、アート活動を工賃につなげる事例を紹介しながら、それぞれの事業所の状況に落とし込んで、何ができるのかということとを学ぶ研修を開催しました。

講師の方からはアート活動の取組方法や考え、どのようなプロセスで商品化し、販売、売り上げに繋がっていくかということ、解りやすくお話ししていただきました。

参加者からは、「商品づくりにあたり、大変参考になった」「著作権など、知っておきたいことが聞けて良かった」等のご意見をいただきました。



静岡県立沼津特別支援学校中学部「シャチホコを描こう」ワークショップの様子

## 光る個性発見！ 力を合わせて生まれた大きな喜び

「何ができて上がるのだから」とわくわくと緊張感が伝わってくる。そんなワークショップを様々な場所で開催することができました。提案させていただいた内容に皆さんが興味を持ってくださった。準備の段階からアドバイスいただいたり、大変ありがたかったです。どのワークショップでも「この時間を思い切り楽しむ」という想いが参加者、支援者、全員から伝わってきて、全力で取り組んでいた。ワークショップを通じて普段はできないコミュニケーションも生まれ、表現の仕方や、特性等いろいろな発見をすることもできました。

完成後、達成感から参加者の方々の表情も豊かになり、「またやってみたい」という声を聞くことが

### 東部

みらーと東部  
支援コーディネーター 伊藤 享子



戸田の県道沿いコンクリート壁に生える苔を削りアートを描く「苔アート」  
[NPO 法人こころのまま(障害者のしごとを考える母の会)]・「沼津地域おこし協力隊」

ができたのは大きな喜びです。これからはわくわくするような、そんなワークショップを取り入れていきたいと考えています。



## 点から線へ。線から面へ発展する

学びや創造、問題解決やトレーニングを通して  
経験や共同作業をしたり対話をしながら、スキルを伸ばす。  
時にそれは点から面へと大きく飛躍する。

静岡県立沼津特別支援学校中学部で10月に予定している修学旅行先「名古屋のシャチホコ」をモチーフにしてワークショップを開催。みんなで力を合わせて描いた作品の前でバンザイ！



ショールームの窓ガラスに描かれたハロウィンの絵



障害者事業所の利用者も支援員も一般の子供も大人も思い思いにガラスのキャンパスに描いていく

## 絵を描きながら話をしたり歌を歌ったり アートが繋ぐ憩いの時間

今後、多くの企業などと協力しながら支援の輪を広げていきたいと思っております。

このイベントではワークショップの他にも、障害のある人が描いた絵画の展示や福祉事業所がブースを出して福産品を販売したり、お料理教室に参加できたりと来場者に楽しんでもらえるイベントになったと思います。

また、親子で話をしたり歌を歌ったりしながら描いている様子は微笑ましい光景でした。

「ハロウィン」をテーマに、静岡ガス(株) エネリアショールーム静岡の大きなウィンドウをキャンパスにして、自由に絵を描くワークショップを開催しました。画材の特性や使い方のレクチャーを受けてから描き始めるのですが、最初は何を描くか戸惑っていた方も、講師やスタッフからアドバイスを受けると徐々に描き進めることができましたようでした。

### 中部

みらいと中部  
支援コーディネーター 田代大輔



静岡県立沼津特別支援学校「手形アートでクリスマスツリーを描こう」(合同作品)  
クリスマス時期の開催となることから、クリスマスツリーを手形アートで制作



【上左】陽光の園(熱海市)のメンバー【上右】ワークショップマナ(西伊豆町)でのワークショップの様子



窓ガラスにマスキングテープを貼って下絵を準備。自由に描いてもらいスタンドグラスのような作品に仕上げる。【左】道の駅伊豆ゲートウェイ函南 おえかきウインドウ(ガラスアート)【中・右】株式会社東海医療器械「ガラスアートワークショップ」体験会他イベント、福祉事業所による福産品の販売会と同時開催



【左中右】就労継続支援 B 型事業所 アイタス「窓ガラスに絵を描こう!沼津市から望む富士山」(ノウクマルシェ同時開催)



【上段】浜松未来総合専門学校での特別授業  
【下段】静岡文化芸術大学「風鈴を創る」ワークショップ



【上段・下段右】ワークショップ「楽器と遊ぶ音楽会」(浜松市)  
【下段左】「ステンシルワークショップ」地域活動支援センターだんだん(浜松市)



## 西部の気風を詰め込んだワークショップ

西部

みらいと西部  
支援コーディネーター 鈴木結子

浜松は音楽の街と言われています。そんな浜松らしいワークショップができればと、即興演奏を得意とする竹嶋賢一さんを講師に迎え、即興ピアノの佐々木裕一さんを特別ゲストとしてお呼びし、ワークショップ「楽器と遊ぶ音楽会」を開催しました。

弦楽器とピアノの即興演奏の中、参加いただいた皆様は自由に楽器を鳴らしたり、じっくり音楽を堪能したり、ダンサーさんが踊ってくださったり。時間いっぱい「音楽の贅沢」を味わっていただけました。

また、浜松はものづくりの街でもありません。オリジナルの何かを作りたい。そんなご相談をきっかけに、浜松市で子供向け絵画教室「絵とモノづくり工房 doodle」を展開されている猪原亜希先生にご協力いただき、バックやランチョンマットにステンシルを施すワークショップを実施しました。

自分で作ったものを使うという楽しみのもと、制作に取り組む姿はさながら職人のようでした。

プロの先生のみならず、今年度は学生にもワークショップを開催していただきました。静岡文化芸術大学の学生が企画、運営を手掛けた「風鈴を創る」ワークショップでは、学生と参加者がじっくり話をしながら風鈴を創作していった様子が印象的でした。

また、福祉事業所と専門学校の学生とのコラボレーションも実現しました。お互いを知るところから始まった創作活動は、双方の良い経験となったようです。



静岡文化芸術大学「風鈴を創る」ワークショップ

支援コーディネーターとして地域の方々との接点を増やし繋がりを強めていきます。

これからもつながりを大切に豊かな芸術活動を広げていくための支援をしていきたいと考えています。

地区拠点での活動2年目を迎え、今年は前年開催したイベントから繋がったご縁も含め様々な活動を行うことができた一年となりました。みらーと展にお越しいただいた来場者の方から、東京で開催されるアフリカのルワンダ支援のイベント参加のお誘いをいただき、県内の事業所の作品が展示されたことにより障害の有無に関係なく作品が純粋に「アート」としてもらえる機会を創出することができたことも貴重な経験でした。

東部



みらーと東部  
支援コーディネーター  
伊藤 享子

東部

これからもつながりを大切に多様な表現活動、発表の機会を創出していきます。

特別支援学校から

【相談内容】ワークショップを開催して欲しい

昨年度のワークショップがコロナ禍により中止となったため、今年度は12名を対象に絵画制作を行いたい。

【対応】参加人数、希望日等先方の希望を確認。モチーフについては、対象の参加者が名古屋に修学旅行に行くため、名古屋城にまつわるモチーフを描きたいと相談を受けた。

企業から

【相談内容】展示会を開催して欲しい

新設したギャラリーにてみらーと展を開催してほしい。

【対応】開催場所に近いアートサークルの作品をリストアップし、展示方法等話し合いながら展示会を開催した。

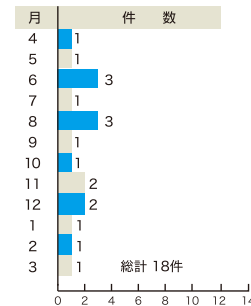
【相談分類別件数】

相談分類	件数
鑑賞 (鑑賞機会、鑑賞支援等)	0
創造 (創作環境、支援方法等)	7
発表 (発表したい、開催したい)	11
交通・連携(ネットワークづくり等)	0
調査研究・保存	0
権利保護 (二次利用、商品化、販売)	0
人材育成 (研修・講師の情報等)	0
情報発信 (取材、広報)	0
その他	0
合計	18

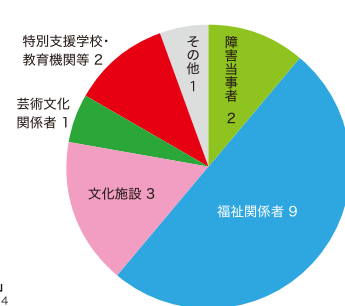
【調査訪問件数】

月	訪問件数
4月	20
5月	13
6月	21
7月	14
8月	11
9月	11
10月	15
11月	11
12月	21
1月	18
2月	14
3月	10
合計	179

【月別相談件数】



【相談者種別】



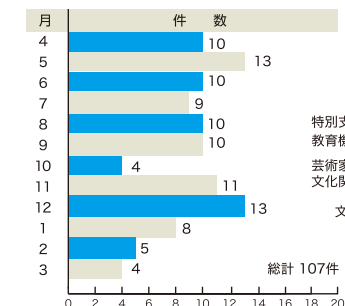
【相談分類別件数】

相談分類	件数
鑑賞 (鑑賞機会、鑑賞支援等)	2
創造 (創作環境、支援方法等)	31
発表 (発表したい、開催したい)	56
交通・連携(ネットワークづくり等)	1
調査研究・保存	1
権利保護 (二次利用、商品化、販売)	4
人材育成 (研修・講師の情報等)	2
情報発信 (取材、広報)	4
その他	6
合計	107

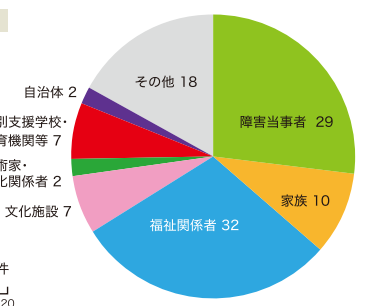
【調査訪問件数】

月	訪問件数
4月	57
5月	46
6月	62
7月	49
8月	39
9月	43
10月	38
11月	39
12月	49
1月	48
2月	40
3月	31
合計	541

【月別相談件数】



【相談者種別】



夢を描く～次年度に向けて～  
支援コーディネーターからのメッセージ

吉原つくし(富士市)「オープンアトリエ」今回制作した作品は富士市役所内のカフェに展示された

東・中・西部支援拠点 相談データ

静岡県は東西に広いため、東部、中部、西部と地域毎でも取り巻く環境も、意識も考え方も微妙に異なる印象があります。地域や特性によって相談の内容も様々です。みらーとは、障害のある人や表現活動をサポートする支援者の悩みの解決に向けた活動を連携して行っています。

全県下

## 浜松の「やらまいか精神」を感じた年

「やらまいか精神」という言葉がありますが、今年度は特にこの言葉を意識した年となりました。「家族が絵を描いていて発表したい」といったご相談や、「ワークショップ・オープンアトリエをやってみたい」といったご相談を多くいただきました。

また、学生と障害のある人たちとの交流の場を通して、様々な方面に「障害者アート」を起点とした福祉への模索と挑戦が広がっていったのを実感しています。

今まで出会う事の無かった人達に、アートを通して出会える事は誰にも大きな刺激となります。その刺激を受けて生まれる「どんなことができるのか、今まで興味なかったけど、ちょっとやってみようかな」のきっかけ作りを、私もやらまいかの精神で一緒に考えていきたいです。



みらーと西部  
支援コーディネーター  
鈴木 結子



みらーと中部  
支援コーディネーター  
田代 大輔

世間では、徐々に新型コロナウイルス感染症の自粛ムードが緩和されてきました。しかし、福祉の現場ではまだしばらく注意が必要だと感じています。マスク着用の判断基準が個人に任せられるようになり、リスクと自由な活動の両方を考えながらの難しい判断が今後求められそうな雰囲気です。

今年度はイベントの開催を企業と連携したり、大学や専門学校と連携した活動に力を入れてきました。障害のある人を取り巻く環境を知ってもらうことから始め、企業や学生の方たちがどのような支援ができるのかを考える、良いきっかけとなりました。

毎年恒例のパフォーマンスイベント「look@me!」は、昨年の小規模での映像制作や一昨年の無観客での開催というコロナ禍の影響から少し解放され、一般のお客様の前でパフォーマンスを開催することができました。パフォーマンスをする演者側もマスクを外して演技することができ、元気いっぱい楽しそうに取り組んでいたのが印象的でした。

今年度の活動を振り返り、多様な分野で文化芸術活動に関わる方々のご協力をいただくことができ、この場をお借りしてお礼申し上げます。今後も各方面の専門家の方々のご協力をいただきながら、障害のある人たちの支援活動に活かしていきたいと思っております。

## 西部 作品の商品化や発表の機会など具体的な相談が増えました。

家族から

**【相談内容】作品を商品化したい**

障害当事者である家族が絵を描いていて、最近個展を開催した。今後も続けたいが、作品を商品化して販売もしていきたい。良いアイデアはあるか。

**【対応】大学や専門学校等の教育機関と連携し、アイデアを広めていけるのではないかと提案した。**

個展のみならず、様々な展示会へ挑戦される事を進めた。市内での展示会にて、作品を出展いただいた。

福祉事業所の職員から

**【相談内容】発表の機会が欲しい**

絵画以外の作品(立体造形)の発表の機会が欲しい。多くの人に作品を見てもらいたい。

**【対応】みらーと主催の展示会にて、作品を出展していただいた。**

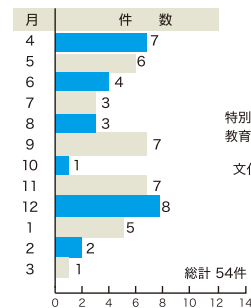
### 【相談分類別件数】

相談分類	件数
鑑賞(鑑賞機会、鑑賞支援等)	1
創造(創作環境、支援方法等)	13
発表(発表したい、開催したい)	30
交通・連携(ネットワークづくり等)	0
調査研究・保存	1
権利保護(二次利用、商品化、販売)	2
人材育成(研修・講師の情報等)	1
情報発信(取材、広報)	2
その他	4
合計	54

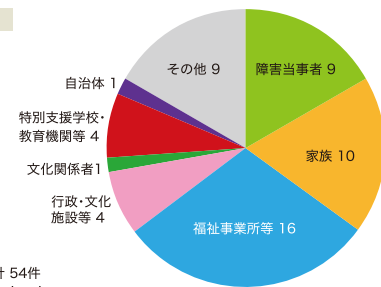
### 【調査訪問件数】

月	訪問件数
4月	27
5月	19
6月	25
7月	22
8月	18
9月	22
10月	18
11月	18
12月	15
1月	20
2月	16
3月	13
合計	233

### 【月別相談件数】



### 【相談者種別】



## 中部

多様な相談に、多くの方のご協力を得て応えることができました。

本人と家族から

**【相談内容】余暇時間での活動について**

余暇の時間にアート活動を行いたい、どのような内容、スケジュールで行ったら良いか。

**【対応】ヒアリング後、実情に合ったアドバイスを行った。**

特性に合わせた内容、スケジュールを事業所職員と考え、画材などの支援や運営のサポートを行った。

福祉事業所の施設長から

**【相談内容】著作権等の権利保護について**

施設の利用者が描く絵を展示会等で発表したいが、キャラクターをモチーフにした作品などの著作権について問題点を知りたい。

**【対応】作品を確認後、実例を踏まえたアドバイスを行った。**

どのような作品なのかを確認した後、権利保護関連の実例を踏まえ、実情に合ったアドバイスを行った。

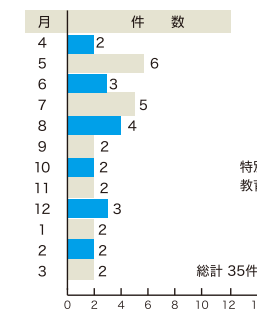
### 【相談分類別件数】

相談分類	件数
鑑賞(鑑賞機会、鑑賞支援等)	1
創造(創作環境、支援方法等)	11
発表(発表したい、開催したい)	15
交通・連携(ネットワークづくり等)	1
調査研究・保存	0
権利保護(二次利用、商品化、販売)	2
人材育成(研修・講師の情報等)	1
情報発信(取材、広報)	2
その他	2
合計	35

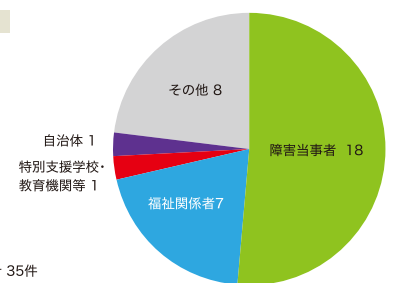
### 【調査訪問件数】

月	訪問件数
4月	10
5月	14
6月	16
7月	13
8月	10
9月	10
10月	5
11月	10
12月	13
1月	10
2月	10
3月	8
合計	129

### 【月別相談件数】



### 【相談者種別】



才能と指導を下さる方のおかげ(心)に感謝しました。  
 是非、才能を引き出し(出す) それとご自身の  
 喜びは、さらに前へ進めたいと見せていただきた  
 ありがとうごさいます。

・みんな大変よく出来ています。僕も前を向いてがんばり  
 また展示してください楽しみにしています。

・皆さんの個性が出ていてスリキでした。すごいですね。  
 ・うえをさんのえは、とてもうまかったです。  
 ほかに人は、とてもうまいです。またきたいとおはいます。

・とてもさよならができません

「ぼくがほしい」... 多くを表現していました。明日からがんばり  
 どの作品も、表現力があってとても感動しました。同時に、絵に表現をあらわにする事  
 がんばらしてました。  
**来年僕も施設で働きます。**

・自分を大切にすること、明るく生きること、自然を素直に感じること  
 よく表現されていると思います。教えてください。

・右脳の発達にめざましい方々の集団です。スライム。

・素晴らしいですね。おかしめてもらいました。ありがとう

【上】「袋井版風を創るひとたち展」袋井市役所市民ギャラリー（袋井市）で鑑賞者から寄せられた直筆メッセージ（一部）【下左】いわなみキッチンの看板を就労継続支援B型それいゆ（静岡市）のメンバーがデザイン



新たな出会いもあり、そこからまた新たなことが発展し、アートは人々を繋ぐと思えました。彼らの活動を長年サポートしているモジック印刷さんが用意してくれた複製画やポストカードやしおりを、どれにしようかと楽しそうに選ぶ来場者さんの姿も微笑ましく、お土産としてとびきりを選んで帰る姿も平和だと感じました。いつも見にくる方、初めて見にくる方、たまたま通ったからと来てくれた方、海外から来てくれた方と様々な方達が思い思いにアートに見入っているのが印象的でした。

そこにいる人はみんなハッピーに見えて、アートには人を幸せにしてくれるパワーがあることを再確認しました。

## 碧い翔け橋

障害のある方々が社会とつながる架け橋に



みらーと協力隊として「風を創るひとたち展」碧い翔け橋2022」に参加させていただきました。

この活動では、官学連携として碧をスクールカラーに持つ本学学生が、障害のある方々が社会と広くつながるための架け橋になるとうと、ワークショップを中心に作品展示を行いました。特にワークショップでは、学生を中心に活動し、浜松手をつなぐ育成会の方々と作品づくりに留まらない交流ができ、相互に貴重な機会になったと実感しています。

また、福祉事業所へ訪問することで、障害に対する偏見がなくなり、学生が多くのことを学ぶ機会になりました。そして、障害ということに対する、自分自身が勝手に作っていた障壁に気づき、取り除くことができました。

次年度もみらーとさんと連携し、学生が多くのことを学び、障害のある方々の社会を広げる多様な活動をしていきたいです。



静岡文化芸術大学  
 文化政策学部3年  
**中安彩乃**



一般社団法人南富士山シティ理事  
 いわなみキッチン代表  
**井口宏美**

## ～ Art, Happy and Peace ～

アートには人を幸せにするパワーが宿っている

三島市の老舗雑貨店MIHAMAYAさん2階のアートギャラリーで、4日間に渡り開催された「風を創るひとたち展」に参加させていただきました。

「ファンとして普段から展示会には足を運んでいましたが、まだまだ出会ったことのない原画はたくさんあり、今回も初めて見る作品や複製画でしか見たことなかった作品、色とりどりの力強い作品の数々が圧巻で、楽しませていただきました。ギャラリー2階の窓から外を見下ろすと交差点を行き交う車や人々が見えて、ギャラリーの中はアートの囲まれた、ゆったりとした時間が流れていて、混沌とした毎日から少し離れたような温かい気持ちになりました。

1年の活動を振り返って みらーと協力隊からのメッセージ

ARTS&M